

関東大震災から100年

日野消防署新聞

～あなたはその時、大切なものを 守り抜くことができますか？～

今年は一九二三年九月一日に死者十万人を発生させた関東大震災から百年の節目の年です。特に地震時に発生した火災による被害が多く、山手線の内側の半分程の面積(二四六六ha)を焼失しました。

そんな中、ぽっかり焼け残った町があります。現在の千代田区神田佐久間町・神田和泉町です。これは住民らが町に踏みとどまり、バケツリレーなどの消火活動を不眠不休で行った猛火から守り抜いた町です。

焼け残った理由は、周囲に川や頑丈な耐火建物があったことなど、バケツリレーだけではありませんが、町の人同士が共に助け合う「共助」の重要性を教えられる教訓でもあります。

南関東地域全体で、今後三十年以内に七〇割の確率で地震規模マグニチュード七クラスの地震が発生すると推定されています。

「あなたはその時、自分の命、大切な家族、友人の命を守り抜くことができますか？」

関東大震災100年

幾多の災害を乗り越えてきた東京 備えよう、明日の防災

地震時のケガ人を減らすには？

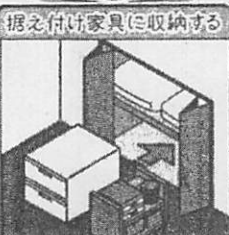
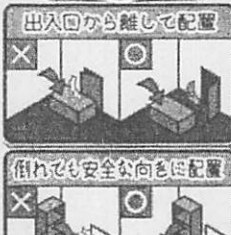

大きな地震の際にケガをした人の3割から5割は、家具の転倒・落下・移動によるものです。

そのような地震時の室内被害を減らすために、「家具転倒・落下・移動防止対策」が必要となります。対策を実施することでケガだけではなく、火災や避難障害が生じる危険性も軽減させることができます。

器具を取り付けるだけでなく、レイアウトを工夫したり、収納を集中させたりすることも簡単にできる対策となります。

していますか？

家具類の転倒・落下・移動防止対策

集中収納しよう!	レイアウトを工夫しよう!	家具を固定しよう!
 <p>据え付け家具に収納する</p> <p>クローゼット等に集中収納して、生活空間にある家具を減らそう!</p>	 <p>出入口から離して配置</p> <p>倒れでも安全方向を向き配置</p>	 <p>L型家具</p> <p>ボルト式+ストッパー式</p>

受けてみよう! 住まいの防火防災診断

「住まいの防火防災診断」とは、高齢者、障害者の方など、災害時に支援が必要な方のお宅を消防職員が訪問し、火災、震災、家庭内事故等の危険性についてアドバイスなどを無料で行うものです。一回あたりの診断の所要時間は約30分です。



住まいの防火防災診断については日野消防署防災安全係地域防災担当まで、ご相談、お問い合わせください。



発見された危険例

こんろの周りに可燃物が多くあり、引火の危険性があった。

ガスストーブのホースに亀裂があり、ガス漏れの可能性があった。

固定されていない家具がベッドの上に転倒する危険性があった。

